

北習カップ[®] 2024



北習志野フットボールクラブ
北習カップ実行・運営委員会



第28回北習カップサッカー大会 2年・3年の部
(北習カップ 2024) 実施要項

1. 主催 北習志野フットボールクラブ
2. 協力 F. C. MIYAMAEAST、ゴールジェニウス FC、船橋 JYS、中野木 FC、八木が谷北 FC、葛飾 FC、ファンタジスタ船橋 S. C.、船橋 KSC、船橋法典 FC、宮本 JSC (敬称略)
3. 目的 子供たちがゲームを通じてフェアプレーの精神を学び、また各チームとの交流を図りながらサッカーへの情熱を深める。
4. 日程

| | |
|----------|-----------------------------|
| 予選リーグ | 令和6年10月12日(土)、13日(日) |
| 準決勝リーグ | 令和6年10月19日(土) (予選リーグ予備日) |
| 決勝トーナメント | 令和6年11月3日(日祝) (準決勝リーグ予備日) |
| | 令和6年11月16日(土) (決勝トーナメント予備日) |

* 小雨決行いたします。
5. 会場

| | |
|--------|---------------------------------------|
| 予選リーグ | 三山東小、高根台第二小、飯山満南小、中野木小、八木が谷北小、習志野台第一小 |
| 準決勝リーグ | 葛飾小、高根台第三小、習志野台第一小 |

* 車両台数などの詳細は組合せ表を参照ください。
6. 大会規定
 - ① 参加条件
 - (ア) 小学校3年生の部は3年生以下、2年生の部は2年生以下の男女とする。
 - (イ) 選手のエントリーできるチームは一つとし、学年、チームを跨いで重複エントリーは認めない。
 - (ウ) チーム役員(指導者または審判員)の同一学年チームをまたいでのエントリーは認めないが、学年をまたいでのエントリーは可とする。また、1チームに1名以上の審判を帯同していること。(指導者と兼務可)
 - (エ) 選手は健康であり、保護者の同意を得ていること。
 - (オ) スポーツ傷害保険に加入していること。
 - (カ) サッカー競技理念を理解、共感し、選手、指導者、審判員、関係者をリスペクト(尊重)すること。
 - (キ) 大会における、感染症対策にご協力、ご理解をいただけていること。
 - ② 順位の決定
 - (ア) 3年生、2年生の部ともに、各組グループに分けて予選リーグを行う。
 - (イ) 予選リーグ
 - 順位の決定は勝ち点により行う。(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)
 - 勝ち点と同じ場合は、得失点差、総得点、対戦結果、P.K.方式の順で決定する。
 - (ウ) 準決勝リーグ
 - 予選リーグの各組1位ならびに2位の上位チームで準決勝リーグを実施し、各組1位ならびに2位の上位チームが決勝トーナメント(ベスト8)に進出する。
 - (エ) 決勝トーナメント(ベスト8)
 - 決勝トーナメントにおいて引き分けの場合、延長戦は行わず、P.K.方式決定戦で順位を決定する。
 - (オ) P.K.方式決定戦 ※第3審判は本部より出す。
 - A) P.K.方式決定戦は、試合終了時に競技者(ベンチにいる交代選手も含む)のより多いチームは、相手チームの人数と等しくなるように競技者数を減らし、それらの選手の中から任意に選出した3人の選手で行う。
 - B) 同点の場合は、以降サドンデスとする。4本目以後のキックは、最初の3本のキックを行っていない選手が行う。
 - C) 選手全員がキックを行った後、2巡目のキックは1巡目と違う順序でもよい。

③ 試合方法

(ア) 試合時間

| | |
|----------------|-------------------|
| 予選リーグ、準決勝リーグ | 7分ハーフ (7-3-7分) |
| 決勝トーナメント(ベスト8) | 10分ハーフ (10-3-10分) |

(イ) 競技者の数

- A) 1チーム6人(うち1人はゴールキーパー)とする。
- B) 試合開始時に1チーム4人以上がコート内に入ることによって試合成立とし、3人以下の場合は不戦敗とする。
- C) 交代要員数および交代回数に制限は設けない。
- D) 交代はタッチラインの中央に設けた交代ゾーンから、インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、自由に何度でも行える。ただし、プレー中の選手が完全にコートを出てから交代選手が入ること。これに違反した場合は、その時にボールのあった地点で、相手側に間接フリーキックを与える。
- E) ゴールキーパーが交代する場合は、アウトオブプレー中に、主審に申告の上、主審が試合を停止し、交代を行う。

④ 競技者のユニフォーム

(ア) 対戦チームでのユニフォームの色調が類似する場合、ビブスでの着用を可とするが、背番号の重複があってはならない。

(イ) ゴールキーパーはフィールドプレーヤーと異なるユニフォームを着用すること。(ビブス可とする)

⑤ 用具・コートサイズ

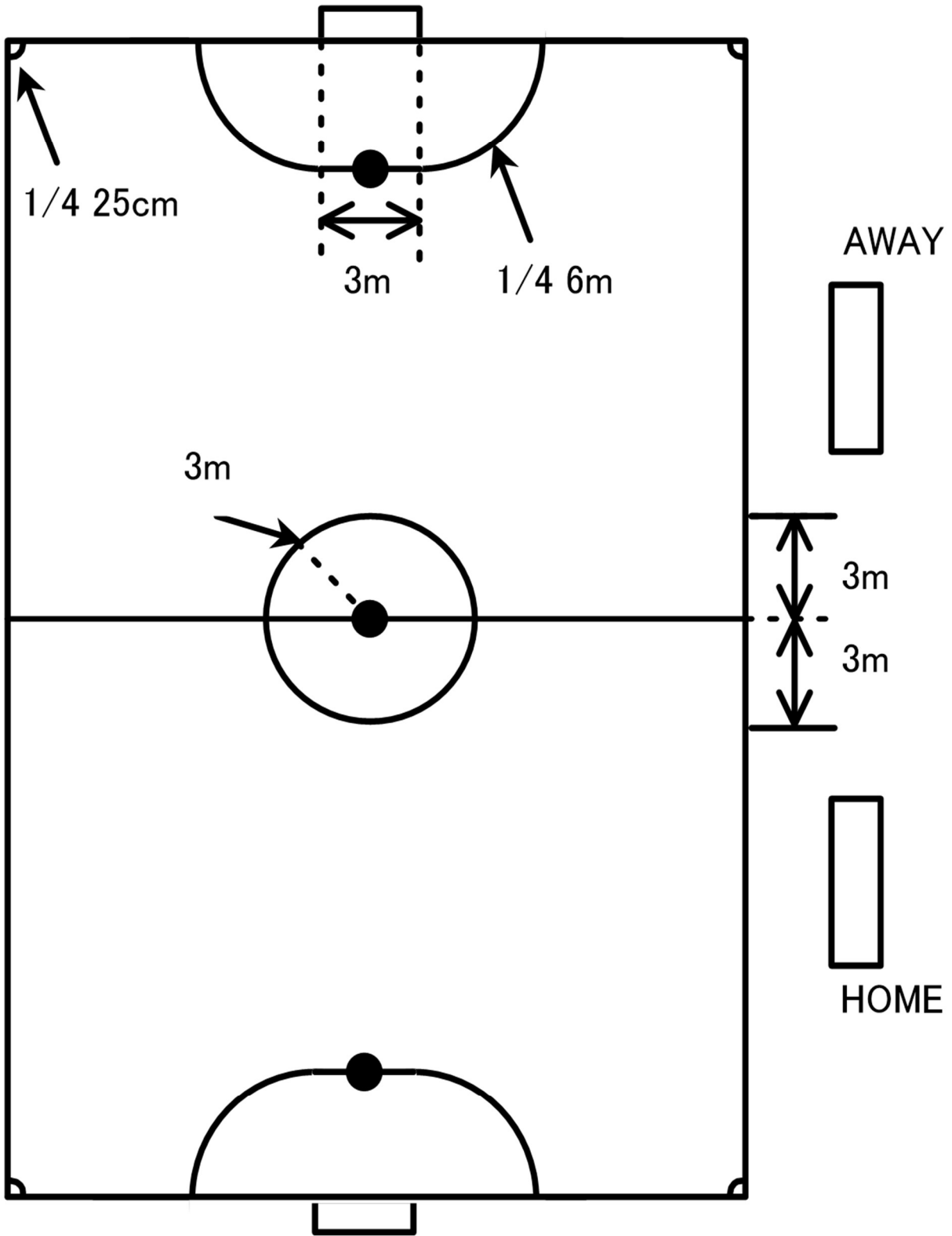
(ア) 用具

- A) 試合球はサッカー4号球とし、対戦チーム持ち寄りとする。
- B) 選手は必ずすね当て(シンガード)を着用すること。
- C) スパイクの使用は基本的に可とするが、会場の指示に従うこと。

(イ) コートサイズ

- A) 縦約40m、横約25mの長方形を目安とし、ゴールの大きさは幅3m、高さ2mとする。
- B) ペナルティエリアは、ゴールラインから両ゴールポストの外側を中心に半径6メートルの1/4円弧を描き、その両端をゴールラインと平行な線で結び、これらとゴールラインによって囲まれた部分とする。
- C) ペナルティマークはゴールラインの中央から直角の方向に6メートル離れた地点とする。
- D) コーナーアークは、半径25cmの四分円とし、コーナーフラッグは設けない。
- E) 第2、10mペナルティマークは設けない。

コート寸法参照図



7. ルール

日本サッカー協会のフットサル競技規則に準ずる。(相違点、注記留意事項を以下に記す)

① 審判

- (ア) 審判は主審、副審の2名で、タッチライン方式とし、双方とも笛を吹くことが出来る。
- (イ) 主審は試合全体を管理することを目的とするためにベンチ逆側に位置し、副審はベンチ側に位置し選手交代時の管理を行う。
- (ウ) 主審・副審の役割
 - A) 主審：通常のレフリング行為、試合の時間、ベンチ逆サイドの管理
 - B) 副審：通常のレフリング行為、ベンチサイド・予備球の管理
- (エ) 主・副審双方がジャッジを行うが、双方の判断が異なる場合、
 - A) フィールド中央部：主審の判断を尊重する
 - B) タッチライン付近：近いタッチ側の審判員の判断を尊重する。
 - C) 双方とも判断が難しい場合、試合を停止し、双方合意の上ジャッジする。
- (オ) 試合前に本部にて審判打合せを行い、お互いの服装等のチェックも併せて行う事。
- (カ) 審判員の判断は『尊重されなければならない』ことより、審判員が対戦チームから判定に対して直接異議・抗議を受けた場合は、本部に報告をしてください。対象チームに対しては大会本部にて対応させていただきます。

② 競技の開始

- (ア) コイントスに勝ったチームが、キックオフまたはエンドを選ぶ。(負けボールジャンケン禁止)
- (イ) キックオフから直接得点することはできない。
- (ウ) キックオフは明らかにボールが動いたときにインプレーとする。(前方に蹴る必要はない)

③ 反則

- (ア) 基本的にはサッカーの規則に準ずるが、他の選手に対するスライディング(スライディングタックル)は禁止とし、違反した場合は、相手側に直接フリーキックを与える(座位でのプレー含む)。
- (イ) タックルではない単なるスライディング(シュート・パスブロックなど)は認められる。
- (ウ) 自分のペナルティエリア内のゴールキーパーに関しては、不用意に、無謀に、あるいは過剰な力で行ったスライディングでなければ認められる。
- (エ) 再開時、守備側の選手は、プレー地点より5m以上離れなければならない。また、守備側の選手の”壁”を形成した場合、攻撃側の選手はその”壁”より1m離れなければならない。
- (オ) 守備側の選手が自分の側のペナルティエリア内で直接フリーキックに相当する反則を犯した場合は、相手側にペナルティキックを与える。また、ペナルティエリア内で守備側が間接フリーキックに相当する反則を犯した場合には、違反が起きた地点に最も近いペナルティエリアライン上から間接フリーキックを行う。
- (カ) ペナルティエリア内で攻撃側が反則を犯した場合に守備側に与えられるフリーキックは、直接、間接にかかわらず、ペナルティエリア内の任意の地点から行う。
- (キ) フットサル競技規則にある累積5ファールならびに第2、10mPKは本大会では適応しない。

④ キックイン

- (ア) スローインの代わりにキックインで競技を再開する。キッカーはボールがピッチから出た位置のライン上に置き、完全に静止したボールを蹴ること(軸足位置は不問)。
- (イ) ボールが明らかに動いたときにインプレーとする。
- (ウ) 再開時、審判はボールの静止を確認し、不静止の場合は手で置くなど静止を促すこと。
- (エ) インプレー後、いずれの競技者にも触られず、キックインが行われた近いサイドのタッチラインから外に出た場合、やり直しでなく、相手のキックインより再開とする。
- (オ) 2度触りは、相手のキックインより再開する。
- (カ) キックインから直接得点することは出来ない。

⑤ キーパースロー(ゴールクリアランス)

- (ア) ゴールキックの代わりにキーパースロー(ゴールクリアランス)で競技を再開する(パント、ドロップキックはできない)。

- (イ)キーパの手より離れた時点でインプレーとし、ノーバウンドでハーフウェイラインを越えてはいけない。
- (ウ) 投げる時に手からボールが離れる前に、ペナルティエリアからボールが出た場合はハンドリングの反則ではなく、キーパースローのやり直しを行う。(インプレー中はハンドリングとなる。)

⑥ ゴールキーパーのプレー

- (ア)インプレー中にキャッチしたボールは、投げるか、蹴ることができ、ドロップキックで蹴った場合はノーバウンドでハーフウェイラインを越えてもよいが、投げたボールとパントキックで蹴ったボールはノーバウンドでハーフウェイラインを越えてはいけない。
- (イ)ゴールキーパーが投げたボールが直接ゴールインした場合は得点を認めない。
- (ウ)ゴールキーパーからのスロー、リリース、キック等を故意に妨害した場合、反則とし、間接フリーキックより再開する。
- (エ)ゴールキーパーへのキックによるバックパス(キックインを含む)はハーフウェイラインを超える必要なく、いかなる場所から何度でもバックパスを受ける事できるが、手で扱うことはできない。

⑦ オフサイド

オフサイドの反則は適用しない。

⑧ 退場

退場者があった場合には競技者を補充できる(シンビンは適用しない)。ただし、退場者はその試合と次の1試合に出場できない。

⑨ 4秒ルール

キーパースロー、フリーキック、キックインなどのプレーに対する4秒ルールは適用しないが、速やかに行うこと。ゴールキーパーの自陣内での足または手での保持・プレーに対する4秒ルールも適用しない。

⑩ 外的要因に対する不正について

インプレー中のボールをベンチの選手、指導者、乱入した観客がボールに触れた場合、関与した地点より間接フリーキックより再開する。

⑪ 不戦勝、不戦敗

原則として試合開始時刻に5分以上遅れた場合は不戦敗とする。この時、不戦勝チームの勝ち点は**3**、得点は**5**、不戦敗チームの勝ち点は**0**、失点は**5**とする。

8. 大会の延期

荒天等により大会を延期する場合は、当日午前6:30までに決定し、北習志野FCホームページに掲載および各チーム代表者にメールで連絡する。

9. 表彰

大会表彰 3位までを表彰する。

(メダルは10個/チーム準備いたします。不足の場合は、別途発送いたします)

大会 MVP 決勝トーナメント時に大会本部役員にて選出する。

チーム内 MVP 参加チーム内にて2名選出する。(選出方法・基準は各チームにて)

*なお前大会にてカップ等をお持ち帰りになられたチームは予選当日までにご返却ください。

10. 指導者ならびに審判員

チームを引率、統制ができる者とし、指導者、審判員いずれかの資格を保有していること。

また、最低1名の指導者ならびに審判員が選手と常に随行し、感染症拡大防止に配慮すること。

① 指導者

(ア)試合時にベンチ入り可能な指導者数は3名までとし、うち指示が出来る指導者は1名までとする。

- (イ) プレーヤーの意思を尊重すること。
- (ウ) 審判員の判断、決定を尊重すること。
- (エ) 過度な大声での指示は控えること。
- (オ) チームにエントリーされた指導者であること。
- (カ) 審判シャツでのベンチ入りは禁止とする。
- (キ) テクニカルゾーンからのビデオ撮影等は禁止とする。

② 審判員

(ア) サッカーまたはフットサル4級以上の資格を有すること（本部に審判証を提示いただきます）。

(イ) **審判服**を正しく**着用**し、**ワッペン**を着用すること。

- A) シャツ : 裾をパンツに入れること。
- B) パンツ : レフリー服であること（黒のハーフパンツは推奨しない）。
- C) ストッキング : サッカーストッキングを着用すること。

(ウ) イエロー・レッドカード以外にグリーンカードを必ず携帯し、フェアプレーを行った競技者に対しては積極的にグリーンカードの掲示をすること。

11. 感染症対策

- ① 各会場の感染防止対策に従うこと。
- ② 引率者として1チームあたり最低2名の指導者を帯同し、最低一名は選手と常時随行すること。
- ③ 指定場所以外での飲食は控えること。
- ④ 体調の優れない者（選手・指導者・審判員・関係者）は参加を控えること。

12. その他

① 参加費

1チーム **5,000円**を予選日当日にお支払ください。

② 参加方法

事前配付のメンバー表に記入の上、当日提出ください。

③ マナーについて

近年、指導、観戦マナーの低下が見られますので、以下ご理解とご協力をお願い致します。

- (ア) 相手選手を『敵』と言わない、言わせない。
- (イ) ベンチ外(観戦ゾーン等)からの指示をしない。
- (ウ) 選手、指導者、レフリーの判断をリスペクトする。
- (エ) 公道、第三者の敷地からの観戦等、周辺住民への迷惑行為をしない。
- (オ) 車両入校台数、駐車エリアなど会場のルールを厳守すること。
- (カ) 会場内および会場周辺は全て禁煙とします。
- (キ) テクニカルゾーンでのビデオ撮影、電話通話は禁止します。

④ 会場内での注意事項

(ア) ライブ・録画配信などを企画されているチームは、特定者のみ閲覧可の状態にするなど、各個の責任にて個人情報保護に配慮し行ってください。これに関するトラブルについては大会運営委員会および当チームでは一切の責任を負いかねます。

(イ) 怪我については、チームの責任において対処してください。

(ウ) 会場施設内について

- A) 花壇(芝生)の中などは立入禁止とし、ゴミ等は各自で持ち帰るようお願い致します。
- B) 遊具など、競技に必要なもの以外を使用しないでください。特に、小さいお子様をお連れの場合、遊ばせない様、チーム内で配慮ください。

⑤ 車両について

- (ア) 会場内、駐車可能台数は各会場の指示に従ってください。
- (イ) 各チームに駐車票を発行しますので、当日提示してください。
- (ウ) 超過の場合は近隣のコインパーキング等をお使いください。
- (エ) 駐車票のない車は駐車できません。
- (オ) 校内に駐停車した車両は、車中においても禁煙です。

13. 組合せ及び、入校時間、各会場の注意事項など

※別表参照ください

14. 連絡、問合せ先

北習志野フットボールクラブ

ご質問等がございましたら、

大会実行・運営委員用メールアドレス“kitanaracup@gmail.com”にご連絡お願いします。

緊急連絡先

会長 兼 実行・運営委員長

岩橋 直也（いわはしなおや）

電話：080-7015-1627

実行・運営委員

益井 淳一（ますいじゅんいち）

電話：090-5545-9494

また、各ご提供会場へ直接ご連絡されない様、お願い申し上げます。